

しまかみ

燕市立島上小学校 TEL 97-2255 FAX 97-2526

E-mail e-shimakami@g.tsubame-city.ed.jp

島上小HP
QRコード



みりょくの「み」

校長 木部 正実

明けましておめでとうございます。

令和7年が始まりました。子どもたちもエネルギー充電100%で元気に登校してきました。3学期は短い期間ですが、1年のまとめの学期として充実した日々を過ごしていきたいと思えます。

さて、今年の干支は巳年。へびです。へびは大昔から不老不死の象徴として、また、水神や豊穰の神として祀られてきました。古代エジプトの頃に描かれた絵や日本の縄文土器の模様へびが使われています。



古代エジプト時代のへびの壁画

そんなへびですが、3学期の始業式で子どもたちにへびのイメージを聞いてみました。すると「気持ち悪い」「こわい」など、どちらかというともマイナスの答えが返ってきました。



五味太郎作 「みりょくの「み」」

そこで、干支をテーマに絵本をかいている五味太郎さんの「みりょくの「み」」を子どもたちに読み聞かせました。はじめに「魅力」という言葉の意味を子どもたちに話しました。魅力とは「人の心を引きつけて夢中にさせる力（長所・強み）」のことです。この意味を教えたあとで、絵本を五味太郎さんのユーモラスな絵とともに読みました。

お話の内容は、まとめると次の通りです。へびさんは細長くて他の動物から「不良だ」「はっきりしないやつ」

「まともなものを食べていない」など、いろいろ言われます。さらに棒に巻き付いたり体を立てたり他の動物にはできないことができるので、誤解されてしまいます。周りの動物たちにいろいろと言われるへびさん。しかし、へびさんは何を言われてもへっちゃらです。全然気にしません。

ここで一旦読むのをやめ、子どもたちに「どうしてへびさんは気にしないんだろうね」と聞いてみました。すると、子どもたちからは「魅力だから」と答えてくれました。そうです。へびさんは「いろいろいわれるのも けっきょく わたしのみりょくのせいなんだわ」とおもいます。」と、ここでお話は終わります。他の人がしないようなことや変わったことをしている人を見ると「変な人」と思って敬遠してしまいがちですが、「その人らしい」「こんなことができるのはあなただけ」というふう思うと、なんだかあたたかい気持ちになります。自分にはできないことをしたり考えたりしている人をその人の魅力として捉えることは、とても素敵なことだと思います。

島上小学校の子どもたちが魅力にあふれ、にこにこキラキラ輝く1年となるよう、取り組んで参ります。今年もよろしくお願ひいたします。

後期の学校評価の結果をお知らせします

1 グランドデザインより 知 育

評価項目	前期結果	後期結果
① 読みに基づいて自分の考えをもち、深める子が80%以上	70.3% 評価B	71.4% 評価B
② 国語・算数の知識・技能の到達率8割を超える子が80%以上	79.3% 評価B	81% 評価A

評価①については、算数について学年ごとに思考力が高まるような指導を単元レベルで具体的に工夫して取り組みました。その結果、前期より達成率が上がりました。評価としてはB評価ですが、もう少しで80%に達成する児童もいましたので、効果的な取組ができたと考えます。3学期も子どもたちの実態を基にさらに具体的な手立てを工夫し、教職員間でこまめに情報交換しながら力を付けていきます。



評価②については、A評価となりました。しかし、データを具体的に見ると国語の漢字や言葉の学習について落ち込みが見られました。読解力向上の基本となる内容ですので、まずは漢字の効果的な指導法を職員で研修しながら確実に身に付けるようにしていきます。

徳 育

評価項目	前期結果	後期結果
① 自分から進んであいさつができる子が80%以上	74% 評価B	80% 評価A
② 学校は安心して過ごせる場所だと感じている子が80%以上	98% 評価A	100% 評価A

評価①については、よいあいさつができる児童を「あいさつマスター」に認定し、あいさつがよい子がどんどん増えるように取り組みました。ふれあいフェスティバルであいさつがよい子にシールを貼ってもらったこともその取組の一つです。あいさつマスターは、現在31名になりました。3学期もさらに増やして全員がなれるよう、あいさつマスターを中心に取り組んでいきます。

あいさつマスターの人は右下のカードが名札ケースに入っています。



評価②については、児童全員が肯定的評価でした。しかし、まだ自分の思いや気持ちをうまく伝えられない子どもがいると思います。保護者の皆様と協力しながら、今後も子ども一人一人の心に寄り添い、安心・安全な学校づくりに取り組んでいきます。

体 育

評価項目	前期結果	後期結果
①運動に精一杯取り組み、めあてに向かって努力する子が80%以上	91% 評価A	95% 評価A
②自分の心身の状態を伝えることができる子が80%以上	92% 評価A	89% 評価A

評価①については、2学期は鉄棒や跳び箱、マットなどの学習カードを工夫したことで、めあてをもって取り組むことができた児童が増えました。また、持久走についても自分でめあてを立て、時間を決めて練習する取組は、子どもたちにとって効果的な取組だったと考えます。

評価②については、子どもの自己評価と教師の見取りでズレがみられました。特に心配事や悩み事などが毎日の健康観察で十分に伝えられない・気付けないことが課題となりました。これらの子どもについては教育相談で直接話を聞くことができました。島上小では健康観察や各種アンケート、教育相談など様々な方法で子どもたちの心のケアに取り組んでいます。その結果が前述した「学校は安心して過ごせる場所」100%につながっていると思います。今後は子ども自身が自分の思いや気持ちを伝えることができるよう、工夫して取り組んでいきます。



2 保護者アンケートより

	評価項目	前期評価	後期評価
1	お子さんが学校基本ガイドで示したメディアルールを守れるように働きかけていますか。	92%	90%
2	お子さんは、ご家庭で決めた「わが家のメディアルール」を守っていますか。	72%	68%
3	学校だよりや学年だより、ホームページ等を通して、学校の様子が分かりますか。	98%	98%
4	島上小学校の職員は、一人一人の子どもを大切に、保護者に誠意をもって対応していますか。	96%	100%
5	「にこにこキラキラ学校」をめざして取り組んでいる島上小学校の教育活動に満足していますか。	96%	100%

後期評価も保護者全員から回答をいただきました。ありがとうございました。

ほとんどの項目で80%以上の肯定的評価をいただきました。しかし、「2わが家のメディアルールを守っていますか」については、過去3年間で一番低い数値となりました。10月に行った元気もりもり週間では、80%以上の子どもが「守ることができた」と答えていることを考えると、年間を通して守ることができるルールにしたり、メディアコントロールの大切さを親子で学ぶ機会を設定したりするなどの工夫が必要だと考えます。来年度の教育計画に組み込んでいきます。

3 保護者の自由記述より

【ふれあいフェスティバルについて】

- とても楽しめました。子どもたちも元気よく「こんにちは」とあいさつをしてくれてとっても気持ちよかったです。大人も子どもも楽しめるフェスティバルで最高でした。
- 地域の方や先生方みんなで盛り上げようとする様子があり、例年以上に楽しませていただきました。
- 地域の方やいろいろな人との交流ができる機会は、子どもたちにとっても大変よい刺激になっていると思うので、これからも地域参加型の行事は続けていってほしいと思いました。

コミュニティスクール事業の一つとして、今回地域の方から出店していただきましたが、保護者の皆様から好評であったことがうかがえます。来年度も地域参加型の行事をコミュニティスクールで検討していきます。

【持久走記録会について】

- 持久走記録会は時期的に体調をくずしやすいので、もう少し早くやっていただけないか。
- 持久走記録会は昨年までのように同じ日付で一斉スタートの方がいいです。年間予定表で決まっていると助かります。直前だと見に行くことが難しく、きょうだいがいると時間が空いたりして今年は見られませんでした。

今回、持久走について「学校で練習タイムを設定しない」「学年ごとの記録会にする」取組としました。子どもたちは自主的に練習に取り組む姿がたくさん見られました。保護者の皆様からの声掛けや励ましがつらい練習をやる意欲につながっていたようです。記録会でもさらに力が発揮できるように、来年度は同じ日時で記録会を実施します。時期については他の学校行事との関係や指導・練習の時間を確保するということから今年度と同じ11月を考えています。保護者の皆様からはお子さんの体調管理をお願いします。

【その他】

- あすチャレは体験型の授業で分かりやすく子どもたちの関心をそそる内容だったと感じました。今後も様々な生き方をしている人の生の声を聞ける体験に恵まれるとありがたいです。
- PTA学年行事が秋に多数あり、仕事が休みづらい時がある。参加できないときの説明が不十分だったのでもう少し詳しく知りたいです。
- 朝の登校班の時間を見直してほしい。2つの班が1つになり、学校に着くのがギリギリになっている気がします。
- メディアの使い方について、ネット上のトラブルや専門家の話などに触れる機会を作っていただけるとありがたいです。家庭外で見聞きすることで子どもたちにすんなり伝わることもあると思うので。

学校行事やPTA行事については、子どもたちの豊かな学びにつながる内容を今後も工夫していきます。日程については、年間行事との関係があって秋に集中してしまうようです。各学年で来年度の計画を立てる際に、ご意見をいただくとありがたいです。

登校時刻について、子どもたちは現在7:50～8:05には登校しています。「8:10に間に合わない」とあせって事故などにあわないよう、登校班で集合時刻や歩く速さを調整していきます。

メディアの使い方につきましては、前述した通り、来年度はメディアコントロールの大切さを親子で学ぶ機会を設定します。

貴重なご意見ありがとうございました。今後も何か気になることがありましたら、いつでも学校にご連絡ください。これからも子どもたちのために学校と家庭が連携して取り組んでいきたいと考えています。よろしく願いいたします。